

01 外装の部位を知る

外装部位名 施工要点

建物の外装はたくさんの部位で構成されています。
 普段から口にして言っている言葉も、専門的で耳慣れない言葉もあるかと思いますが、
 見積書を正確に理解するためにも、建物の部位名をご紹介します。

外壁 (サイディング・モルタル・ALC)

建物の外観イメージを決める大きなポイント

手すり

アルミなど、剥がれやすい素材のものもあるので、確認が必要

笠木

塀、手すり、腰壁などの頂部に取り付ける仕上げ材。劣化により雨漏りすると内部が腐食する恐れがある

腰壁

カーポート

シャッターボックス

シャッター

玄関ポーチ

玄関アプローチ

ウッドデッキ

天然木のウッドデッキは劣化の進行が早いので、早期メンテナンスが必要

サッシ

金属製の窓枠

屋根

(スレート・瓦・ガルバリウム鋼板)

紫外線や雨風にさらされているため、最も劣化しやすい箇所。建物の寿命を延ばすためにも、屋根のメンテナンスは重要

ペランダ・バルコニー

雨や風が直接当たるので、防水がしっかり機能しているかチェック。
 一般的に屋根付きはペランダ、屋根がないとバルコニーと呼ばれる

破風

屋根の側面に山形に取り付けられた板状の部材のこと。屋根の下や横からの雨風を防ぐ役割をしている

鼻隠し

屋根の先端部分で、雨樋が付く側の部分。破風と同じく、屋根への雨風を防ぐ役割

軒天

屋根の真下にあたる壁

通気口

空気を外部から取り込む箇所。サビ、腐食、通気口まわりの劣化、取れかかっている等の理由により雨水が侵入することがある

胴差し (帯板)

建物の周りを巡る部位。2階の床の土台となり、建物を強固にする重要な部材

庇 (霜除け)

雨や日差しが室内に入るのを防ぐ

雨樋

劣化がひどい場合は交換した方がよい。部分的に交換も可能

水切り

壁との境目などに、水が侵入しないよう入れる金属板

基礎

基礎も塗装をすることで、防水性を高めることが必要。ヒビ割れなどの老朽化を防ぎ、カビやコケの発生を抑えることもできる

雨戸・戸袋

窓を強風から守ったり、防犯、遮光のためにある雨戸。その雨戸を収納するスペースが戸袋

掃き出し窓

窓の下が床まである背の高い窓

